

問題 A

問 1 唾液について正しいものを2つ選びなさい。

1. 唾液成分の約99%以上が水分で、残りが無機質である
2. 口腔内に貯留する唾液は、多い方が良い
3. 口蓋腺は三大唾液腺の一つである
4. 唾液には消化作用もある

問 2 歯無患者の総義歯について正しいものを2つ選びなさい。

1. 舌圧を高めるために、義歯の口蓋部を厚くする
2. 食事以外は外して、食事の時だけ装着する
3. 総義歯を装着したままで口腔ケアをする
4. 唾液嚥下と関連する

問 3 間違いを1つ選びなさい。

1. エビデンスに基づく医療とは解剖学的・生理学的な正しい知識に基づいた医療である。
2. 専門家による適切な口腔ケアを行うことで高齢者の肺炎発症を減少させることができる。
3. 胃瘻が行われる原疾患として最も多いのは脳卒中である。
4. 日本における胃瘻患者の約半数は胃瘻造設2年以内に死亡する。
5. 胃瘻患者の死因で最も多いのは肺炎である。

問 4 加齢に伴う呼吸機能の変化で正しいものを1つ選びなさい。

1. 残気量の低下
2. 肺活量の低下
3. 1秒率の増加
4. 気道クリアランスの向上

問 5 頻回の嘔吐で起こりやすいのはどれか選びなさい。

1. 脱水
2. 貧血
3. アシドーシス
4. 低カリウム血症

問題 A

問 6 低栄養状態を表す数値の組み合わせはどれか選びなさい。

1. BMI 23.0 アルブミン 3.8g/dl
2. BMI 21.5 アルブミン 3.6g/dl
3. BMI 18.0 アルブミン 2.8g/dl
4. BMI 16.5 アルブミン 3.5g/dl

問 7 唾液によって分解されるものはどれか選びなさい。

1. 脂質
2. タンパク質
3. ブドウ糖
4. デンプン
5. セルロース

問 8 高齢者の長期の安静臥床の影響として正しいものを2つ選びなさい。

1. 記銘力の低下
2. 1回換気量の増加
3. 循環血液量の減少
4. 安静時心拍数の減少
5. 血中カルシウム濃度の低下

問 9 口腔内吸引・鼻腔内吸引の説明で正しいものを1つ選びなさい。

1. 吸引圧は300～400kPaとする。
2. 目的は貯留物や分泌物の除去である。
3. あらかじめ定めた時刻にのみ実施する。
4. 口腔内吸引したカテーテルで鼻腔内の吸引もおこなう。

問 10 脱水の診断に有用な所見はどれか1つ選びなさい。

1. 体温の低下
2. 呼吸数の減少
3. 心雑音の出現
4. 肺肝境界の上昇
5. 皮膚緊張度の低下

問題 A

問 11 経腸栄養に関する記述で正しいものを1つ選びなさい。

1. 食道閉鎖を合併している場合には適用されない。
2. 胃瘻にすると経口摂取は出来ない。
3. 経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)は用いられない。
4. 下痢は頻度の高い合併症である。
5. 消化を必要としない。

問 12 胃瘻に関する記述で正しいものの組み合わせを選びなさい。

- a. PEG(percutaneous endoscopic gastrostomy)は、内視鏡的に胃瘻を造設する手術である。
- b. 胃瘻からの経腸栄養には、食材をミキサーにかけた濃厚流動食は使用できない。
- c. 胃瘻造設により経口摂取が不可能となる。
- d. 在宅での胃瘻からの経腸栄養投与は可能である。

1 a b) 2 (b c) 3 (a c) 4 (c d) 5 (a d)

問 13 老年症候群に関する記述で誤っているものを1つ選びなさい。

1. 誤嚥性肺炎の対策として、口腔ケアが実施される。
2. 失禁がある場合には、水分制限が必要である。
3. 糖尿病は褥瘡の内的要因となる。
4. 食事摂取量の減少は脱水の要因となる。
5. 転倒による骨折は、寝たきりの原因となる。

問 14 脳血管障害に関する次の記述のうち誤っているものを1つ選びなさい。

1. 日本の三大死因の一つである。
2. 要介護状態の原因疾患として最も多い。
3. 脳卒中には脳梗塞、脳出血、くも膜下出血がある。
4. 脳梗塞の症状として、激しい頭痛が特徴的である。
5. 心原性脳梗塞の再発予防にはワーファリンが使用される。

問題 A

問 15 加齢に伴う身体機能の変化とそれに合わせた食事の支援に関する次の組み合わせのうち、適切なものを1つ選びなさい。

1. 唾液分泌量の低下 ——— 食事前に口腔内を水分で湿らせる
2. 視力の低下 ————— 主食の上に副食を乗せる
3. 味覚の低下 ————— 塩味を強くする
4. 嚥下反射の低下 ————— 顎を挙げる姿勢で飲込む
5. 腸の蠕動運動の低下 ——— 食事の量を減らす

問 16 神経系とその機能に関する次の組み合わせのうち、適切なものを1つ選びなさい。

1. 視床下部 ——— 記憶
2. 延髄 ————— ホルモン分泌
3. 下垂体 ————— 呼吸
4. 脛骨神経 ——— 手指の知覚
5. 自律神経 ——— 心拍数調整

問 17 高齢者の疾患の特徴に関する次の記述のうち誤っているものを1つ選びなさい。

1. 多疾患の合併が多い。
2. 症状が定型的である。
3. 社会的環境の影響を受けやすい。
4. 潜在的な臓器障害が多い。
5. うつ症状を伴いやすい。

問 18 高齢者の服薬に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. 認知機能障害は、服薬状況を悪くする要因となる。
2. 錠剤は小さくするほど服用しやすい。
3. 薬剤による副作用は、一般に高齢者の方が少ない。
4. 服用した記憶があいまいな場合は、再度服用してもらう。
5. 病院から処方された薬剤は、介護保健施設では保管しない。

問題 A

問 19 呼吸器系に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 呼吸による不感蒸泄量は、排尿より多い。
2. 空気の通り道である気管は、食道よりも前方(腹側)にある。
3. 右肺は2葉、左肺は3葉の肺葉に分かれている。
4. 肺の下部にある横隔膜は、吸気時に上方へ移動する。
5. 呼気と吸気を司る呼吸中枢は、大脳皮質にある。

問 20 リハビリテーションに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 脳卒中などの急性期リハビリテーションは、意識障害が回復するのを待って開始することが重要である。
2. 高齢者の骨折で痛みが激しい場合、痛みが無くなってからリハビリテーションを行っても筋力の低下はほとんどない。
3. 高齢者の生活不活発病(廃用症候群)などで生活機能の低下が予測される場合は、生活機能に障害がなくてもリハビリテーションをおこなう。
4. リハビリテーションの目的は機能の回復にあるので、心臓、腎臓、ヒト免疫不全ウイルスなどの内部障害は対象には含まれない。
5. 近年の包括的リハビリテーションの概念には、薬物療法、食事療法は含まれない。

問 21 成人疾患と人体部位に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 側臥位での褥瘡好発部位は、仙骨部である。
2. 対麻痺では、両側上肢に麻痺が認められる。
3. 痛風発作は、足の親指のつけ根部の関節に多い。
4. 手をついて転倒すると、前腕の橈骨近位端で骨折することが多い。
5. 脳血管障害による片麻痺は、脳の障害部位と同側に症状がでる。

問 22 高齢者や老化に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 加齢に伴って生理機能低下が顕著となる器官は心臓である。
2. 高齢者の難聴は、高音領域から始まる。
3. 「寝たきり」の原因で最も多い疾患は骨粗鬆症である。
4. 高齢者の死因の第1位は脳血管疾患である。
5. 廃用症候群の1つに変形性(膝)関節症がある。